

## 日本での交換留学

パリ・シテ・大学  
ルオー・セリーヌ

コロナの大流行のなか、留学への困難を乗り越え、日本に留学出来て、よかったと思っています。私は留学を通して視野を広げたいと思っていたので、お茶の水女子大学での生活はとても良い経験になり、心から感謝しています。留學生活中は多くのサポートを受けました。教育チームや国際交流室、寮の管理人さんなど、相談相手がいなくなることはありませんでした。

東京だけではなく、文京区や大学の周りも色々な発見が待っていました。他の東京にある大学を比べればお茶大の方は小さいけれども、私自身はその方が好きです。授業や寮は全部同じところであって、迷いやすい私にとっても助かりました。大学内の自然環境もいつも私を落ち着かせます。



授業の間に十分があります。その間、コンビニで買った焼きたてクッキーを食べながら紅葉を楽しんだり、お茶大の猫たちに挨拶をしたり、それとも池の亀と鯉をみに行ったりできます。積み重なって日焼けしている亀はいつもかわいいです！

私は国際課の「生け花教室」に参加しました。そこで先生に憧れて、華道部



に入りました。生け花の構成を考えるのがパズルゲームのように楽しいです。花の費用は自分で払うため、毎回家に持って帰ります。家でも花を見てとてもリラックス出来ます。参加は毎週自由なのもいいです。毎回の部活は音羽館で行います。しかもある設備は部活のためだけではなく自分で予約することができます。例えば和室とか防音室とかがあり、寮に住んだら、色々なコンセプトルームを予約することができます「キッチンスタジオ、シアタールーム、フィットネススタジオ、ミーティングルーム、たたみの間、テラス」。

留学生は普通特別日本語クラスを取りますけど、挑戦したい人は日本人と同じ授業に参加することもできます。そのためある授業の担当者にメールを送って、許可をもらい授業に参加しました。お茶大の自由さが好きでした。

お茶大へ来たら日本の社会について色々なことを学びました。しかしそれだけではなく自分のこともよく知ることができました。自分の中も外からも色々な刺激を受けました。石丸先生、毎月の振り返りシートを確認してくださってありがとうございました。国際課大野さん、いろいろな手続きをしてくださってありがとうございました。チューターの牧さん、手続きを手伝ってくれてありがとうございました。